

第1回評議員会

高橋さん（PTA 会長）・張さん（旧後援会長）・島田さん（旭川商工会議所）

1. 開会（本間副校長）
2. 委嘱状贈呈（菅野校長）
3. ご挨拶（菅野校長） 目まぐるしく様相が変わる昨今の状況
客観的な忌憚のないご意見をいただきたい
4. 今年度の評議員会の紹介（本間副校長）

封筒内容物の確認

5. 意見交換

☆学校基本方針、スクールミッション、3つのポリシー、学校経営方針（菅野校長）

<質問やご意見>

・張さん 面談の実施はどのように実施している？

⇒授業間の休みを15分として面談を実施している

面談の実施は難しい（個室等の場所の問題）、全体がいる場では話したがるらない

⇒BLENDを用いて情報共有している

☆進路状況の説明（井上）

・島田さん 就職の傾向はあるか？

商工会も人手不足、コミュニケーション力、直に話ができる人材を求める

近年は「優しく注意する、なだめる」ということが求められる

⇒本校はインターンシップも実施している

是非、人材が不足する企業には案内してほしい

☆学校の様子について（本間副校長）

・入学者168名 ・高体連全道大会 多数の部活動参加

・ラーニングコモンズ、学習ルーム ・探究ルーム整備 ・单元テスト週間

・学校前工事開始 ・夏服移行 ・クーラー整備

・留学費用補助（菅野校長） オーストラリア 全員異なる学校に 準備を進行中

・高橋さん 生徒は現在どんな悩みや問題があるか

⇒学校に足が向かない、SNSの問題、信頼も重要、本音を聞き出すことが重要

・高橋さん 学校の中では携帯電話はどうしているか？

⇒ルールのあるもとで使用しています

・高橋さん 私学は教員と生徒が近いことが特徴なことの半面、負担は大きいのでは？

近さと距離感が大切になる

保護者の方々の対応も大変なのは

⇒1対1で対応しないように留意している

- ・島田さん 保護者がクレームなどを言うこともあるか
⇒今はそのようなことが多い時代である
- ・高橋さん 生徒が相談しやすい体制をつくっているか？
⇒カウンセラーを配置するなど仕組みとしてつくっている
- ・島田さん 教員の働き方も心配である
⇒他校では休職者も多い状況にある
カウンセラーの活用も
- ・高橋さん 部活動の指導者もなかなかいない状況にあり、部活動は私学としてどのように考えるか？
⇒数年後には高校2校分の生徒が減る
その状況の中であれもこれもで手を広げることはいできない
指導者の問題は今後の大きな問題である
- ・高橋さん 公立も私立も授業料がかからず、どのように差別化していくかが重要では？
⇒教員が変わらないことや自由度が高い試みができることが私学の強みである
パンフレットに教員を掲載するなどの試みも効果的では